

INFORMS2012 での研究発表



目で見ると
海外論文発表

森 博章*

Presentation at INFORMS2012

Key Words : INFORMS2012, OR, Abnormality Detection Methods

<参加会議名> INFORMS ANNUAL MEETING 2012
<開催場所> Phoenix, Arizona, USA
<渡航期間> 2012年10月13日～10月18日
<発表タイトル> Process abnormality detection by process time distribution for optimal planning

2012年10月13日から10月18日まで、米国アリゾナ州のフェニックスで開催された INFORMS2012 に参加しました。本学会では、OR (Operations Research) に関する様々な分野の研究発表が行われました。学会の規模は大きく、1つのセッションは1時間半で2～4人が研究発表を行います。1日にコーヒープレイク等を挟んで4つのタームがあり、1つのタームで70程度のセッションが行われていました。

非常に幅広い分野の研究発表が行われていたので、自分の研究に関連する研究発表や対象は同じでも全く違う手法を用いた研究など、様々な研究発表が聞けたので研究を進める上でも視野が広がったと思います。また、3日目の夕方にはバンケットが開かれ、研究に関する事だけでなく海外での研究生活はどのようなものか、などといったプライベートな話ができる機会も設けられていました。海外の方の研究発表を聞くだけでなく、プライベートな研究生活の話も聞くことができ、非常に自己啓発となりました。

今後も海外にまで視野を広げて、積極的に他国と研究や文化の交流を図りたいと思います。



バンケット会場



他国の研究者との交流



研究発表



*Hiroaki MORI

1989年3月生
大阪大学大学院 情報科学研究科 情報
数理学専攻 2013年卒業見込み
現在、大阪大学大学院 情報科学研究科
情報数理学専攻修士2年 学士
TEL : 080-3835-2939
E-mail : hiroaki.mori@ist.osaka-u.ac.jp